



## カムズ国際空港ターミナルビル拡張計画



ターミナルビル拡張・改修後のカムズ国際空港



新ターミナルビルの内観

### プロジェクト概要

カムズ国際空港（以下KIA）はマラウイ国最大の空港であり、内陸国の輸送交通網において重要な役割を果たしている。KIAのターミナルビルは建設から35年が経過しており、現在では老朽化が著しく、大規模な改修が必要な状態である。

出国時のチェックインカウンター、到着時の入国審査場、手荷物引渡所、保安検査場、出国ロビーが現在の需要に対して狭くなっている。また、1980年代に設置された航空機監視システムは、老朽化により2000年以降は運用されておらず、航空機運航の安全性の向上のために新たな航空機監視システムの整備もマラウイ国航空管制における重要な課題の一つとされている。更にマラウイ周辺国ではすでに、南部アフリカ開発共同体（SADC）の枠組みにおいて、より優れた自動従属監視システム(ADS-B: Automatic Dependent Surveillance-Broadcast)の整備に合意をしている。このような状況から、マラウイ国政府は日本国政府に対して、旅客ターミナルビルの改修と拡張とともに、ADS-Bの整備を要請した。

本プロジェクトの主な目的は、KIAの旅客ターミナルビルの改修と拡張とともに航空機運航における安全性の向上のための新たな航空機監視システムの整備である。

受注形態：共同（主）

業務内容：調査／詳細設計、入札、施工管理

プロジェクト期間：2014年8月～2015年5月(調査)、2015年11月～2018年予定(詳細設計、入札、施工管理)

建設期間：33ヶ月

プロジェクト内容：

[拡張]

- 国際線旅客ターミナルビル 到着ウイング
- 国際線旅客ターミナルビル 出発ウイング
- 国内線旅客ターミナルビル

[改修]

- 既存旅客ターミナルビル

[機材据付]

- 受託手荷物用及び機内持込手荷物用X線検査装置
- 門型金属探知機
- 携帯型金属探知機
- 高所作業車
- 航空機監視システム

期待される成果：

- カムズ国際空港の拡張と改修により空港の収容量を増加させる
- 航空監視システムの導入により航空機の運航の安全性を高める